

イタリアのデザイン経営

EV,ファッション,インテリアの事例

小山 太郎 著

“デザイン経営”という学問分野の研究対象は、(1)デザインプロジェクトのプロセス分析、(2)企業業績や消費者行動に対するデザイン投資の効果分析、(3)S.ジョブズ等のデザイン起業家のテスト(趣向)の分析、(4)デザイナーが持っているデザイン哲学(設計思想)の解明、である一本書は、この内、(1)及び(3)に関連した記述を多く含む。

本書で取り上げた様々な事例は、どれも暮らしのQOLを上昇させるプロジェクトであった。経済の成熟度は、身の回りにある工業製品が、芸術作品のようなクオリティの高いものへと進化・発展した程度によって測られよう—これこそ日本再生の鍵である。



◆目次

第1章 イタリアにおける小型自動車のデザインプロセス

1 はじめに / 2 都市と自動車 / 3 Mitica vs Fiat Trepiano / 4 スリッパ (Ciabatta) プロジェクト / 5 結論と今後の展望—都市景観と自動車

第2章 戦後のイタリアンファッションの成立とその将来展望

1 はじめに / 2 フランスファッションからの精神的独立とイタリアらしさ (italianità) の確立 / 3 アート思考 / 4 部分 (衣服) と全体 (インテリア/ 都市景観) / 5 イタリアンファッション =定められた役割や任意の社会階層からの自己解放の手段 / 6 結論 / 7 将来展望 / 8 補論: イタリアの色使いについて—R. カプッチの事例から

第3章 イタリアのインテリアデザイン理論とその応用

1 はじめに / 2 イタリアのインテリアデザイン理論 / 3 キッチンの事例 (Valcucine社) / 4 浴室の事例 / 5 結論と今後の展望

◆著者紹介

小山 太郎 (こやま・たろう)

1969年生まれ。1993年早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。

同大学経済学研究科修士課程および商学研究科博士後期課程修了。経済学博士 (京都大学)。

NTT勤務の後、中部大学研究推進機構 (研究重点型教員) を経て、2023 年同大学人間力創成教育院講師、現在に至る。

商品開発・管理学会、感性工学会の各会員。世界で最もクオリティ・オブ・ライフの高いイタリアの高級車/ファッション/クルーザー/家具/自転車/皮革製品等を事例として、イタリアのデザイン思考及びデザイン経営の研究を行う。

主な研究業績として『イタリアのデザイン思考とデザインマネジメント』 (単著、三恵社、2021年)、『グッチの戦略』 (共著、東洋経済新報社、2014年)、『ラグジュアリー時計ブランドのマネジメント』 (共監訳、角川学芸出版、2015年) などがある。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	小山 太郎 [著] イタリアのデザイン経営 —EV,ファッション,インテリアの事例— 146頁/A5判/ハードカバー 定価3,200円(税別) ISBN978-4-86693-850-9 C3072
ご注文は、JRCへ FAX:03-3294-2177(TEL:03-5283-2230) 株式会社JRC経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		

※取次配本はありません。